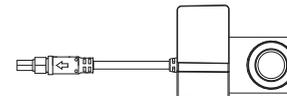
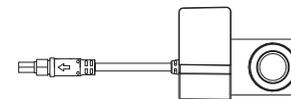
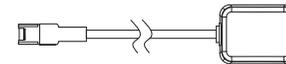
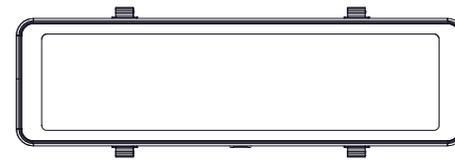


KEYO 

ミラー型ドライブレコーダー

取扱説明書

AN-R121



KEYO

20240719

ミラー型ドライブレコーダーをご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に安全上のご注意“(P4～7)” 使用上のご注意“(P8～12)” はご使用前に必ずご一読ください。

お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックス等) に必ず保管してください。

製品の仕様(外観、付属品、ビューア画面等)は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

もくじ

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
製品の特長	13
製品の構成	14
各部名称	15
車両への設置(本体)	22
車両への設置(フロントカメラ)	24
車両への設置(リアカメラ)	25
車両への設置(カメラ)	26
車両への設置(カメラの調整方法)	27
車両への設置(GPSアンテナ)	28
車両への設置(システム)	29
microSDカードの挿入、取り出し方法	31
microSDカードのフォーマット	32
設定メニュー	34
設定	35
画面の表示	40
録画方式	43
録画可能容量	46
ファイル構成とタイムギャップ	47
microSDカード内の構成	48
ファイルの再生	49
ファイルの削除	51
画面の表示	52
専用ビューア	54
本体ソフトウェアのアップデート	64
製品仕様	66
保証書	68

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取り付け、配線について

⚠ 警告

- ⊘ **DC12V・24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

4

安全上のご注意

⚠ 警告

- ⊘ **車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない**
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- ⚠ **取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する**
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- **配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す**
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因となります。
- **正規の接続をする**
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- **コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する**
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない**
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- **コード類の配線は高温部を避けて行う**
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ **水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない**
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- **振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない**
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- ⚠ **付属の電源ケーブルを使用する**
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。

5

安全上のご注意

■ スーパーキャパシタについて

スーパーキャパシタを内部電源として使用しています。外部電源が遮断された後（車の電源が切れたとき）に録画ファイルを保存する為にのみ使用されます。このカメラは外部から電源を供給しないと作動しません。

■ 内蔵電池（リチウムマンガン電池）について

本製品は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。購入直後はバッテリーが十分に充電されていませんので、時刻がリセットされるときは本製品の電源を1～2時間オンにして充電してください。

⚠ 危険

- ❌ 内蔵電池を分解したり、改造しない
- ❌ 本体以外で充電しない
- ❌ 加熱したり、火の中にいれない
- ❌ 火のそばやストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下など、高温の場所で使用したり、充電、放置しない
- ❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。

- ❗ 電池が液漏れて液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
目に障害を与える原因になります。

⚠ 警告

- ❗ 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやる
- ❌ 電池が液漏れしたり、異臭、変色、変形したときは使用しない

安全上のご注意

■ 使用について

⚠ 警告

- ❌ 本機を分解、改造しない
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
- ❌ 運転中に操作しない
交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- ❌ 機器内部に水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ❗ 故障や異常な状態のまま使用しない
万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。
- ❌ ヒューズは必ず規定容量品を使用する
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災の原因となります。

⚠ 注意

- ❌ 本機を車載用以外には使用しない
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPS などの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。レンズが汚れますと画質が低下します。お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- バイザーはゆっくり下げてください。本体に接触してカメラの向きが変わる可能性があります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に接触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

■ 使用できる microSD カードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHC カード」、「microSDXC カード」を「microSD カード」と総称して表記しています。本機では下記の SD 規格に準拠した microSD カードに対応しています。下記以外の microSD カードは使用できません。

- **microSDHC カード**
容量：16～32GB、スピードクラス：CLASS10 以上
- **microSDXC カード**
容量：64GB～128GB スピードクラス：CLASS10 以上

※microSD カードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。

⚠ microSDカードの注意事項

- 本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSD カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。安心してお使いいただくため、定期的にフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。
- microSD カードは消耗品です。定期的に新しい microSD カードに交換することをお勧めします。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態での microSD カードの抜き差しを行うと録画されたファイル、または microSD カードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSD カードの抜き差し手順

<microSD カードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、画面が消灯したことを確認します
2. ドライブレコーダーから microSD カードを取り出します。
microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<microSD カードの挿し方>

本体の電源が切れている状態で microSD カードを挿入します。
microSD カードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

使用上のご注意

⚠ 注意

本体の電源が入ったままの状態での電源ケーブルまたはカメラケーブルの抜き差しを行うと、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合や、microSD カードのフォーマットを要求してくる場合があります。必ず電源が切れている状態で行ってください。

⚠ GPS信号受信の注意事項

- GPS 衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS 衛星から信号を受信し位置を測位するまで長時間かかる場合があります。
- GPS 衛星からの信号を受信できない場所（トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など）では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS 衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細については販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ（無録画時間）が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご活用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、microSDカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

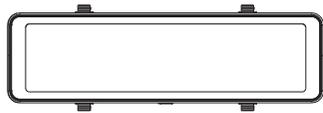
- LEDの信号機やテール / ストップ / ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- G センサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

製品の特長

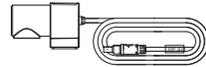
- **前後フル HD ドライブレコーダー+スマートミラー**
前後 2 つのカメラで高画質同時録画をし、しっかり後方確認もできます。
- **デジタルインナーミラーで後方の死角を大幅減少**
リアカメラの広角映像をミラーに映すことにより、安全に後方確認をすることができます。
- **ワイドダイナミックレンジ (WDR)**
明暗差が激しい映像でも白飛び、黒つぶれを抑えます。
- **録画方式**
常時録画、手動録画、衝撃検知録画
- **リアカメラ映像を拡大表示**
画面内のアイコンをタップで拡大 (×1.5 倍 / ×2 倍) 表示ができます。
- **スモークガラス設定搭載**
リアガラスの濃淡に対し 4 段階の明るさで調整ができます。
- **車内後方の同乗者や座席、荷物で視界が遮られても、後方の視界を確保**
同乗者や荷物などで視界が遮られる場合や、雨天や夜間など視界が悪くなる場合など、後方視界確保が困難になる場面で車両後部に取り付けた 200 万画素の高画質リアカメラが、クリアで広範囲な映像で運転をサポートします。
- **リバースギア連動で駐車時の後方確認をサポート**
本製品とリバースギアを連動することで、シフトレバーをリバースに入れた際、画面表示が下方に下がり後方も分かりやすくなり駐車をサポートします。
※リバース連動線を接続して下さい。
- **2 パターンのカメラアングルを記憶**
リアカメラは通常時とリバース時、2 パターンのカメラアングルを記憶できます。
- **専用ビューア**
記録した位置情報や G センサーのグラフを表示して再生することができます。

製品の構成 (同梱品一覧)

■ 製品購入後、同梱品をご確認ください。



ミラー型ドライブレコーダー本体



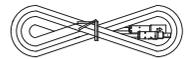
フロントカメラ
(ケーブル長 1.2m)



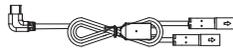
GPS アンテナ
(ケーブル長 2.0m)



リアカメラ
(ケーブル長 0.5m)



リアカメラケーブル
(ケーブル長 8.5m)



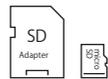
カメラ分配ケーブル
(ケーブル長 1.8m)



シガー電源ケーブル (ケーブル長 4.5m)
※本電源ケーブルは本機専用となります。他の機器 (スマートフォン、PC など) への接続は行わないでください。故障の原因になります。



カメラ用両面テープ
(予備) ×2 枚



SD カードアダプター
microSDHC カード 32GB



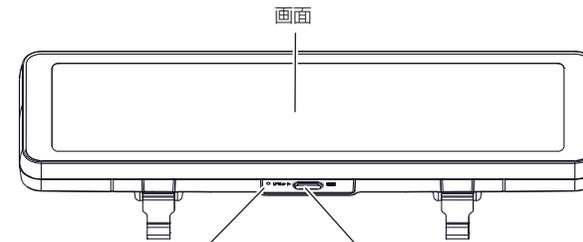
取扱説明書
(保証書付き)



ドライブレコーダー本体
固定バンド ×2 枚

各部名称

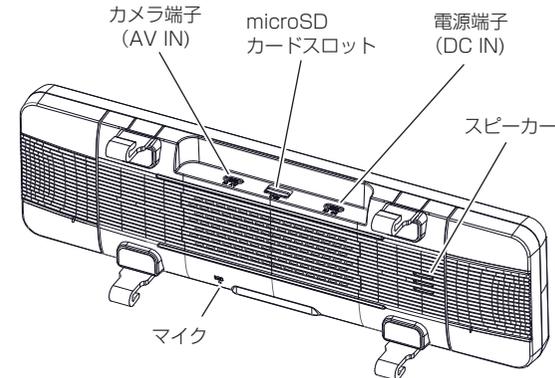
■ミラー型ドライブレコーダー本体



リセットボタン

画面オフ / 電源ボタン

正常に動作しないときに、
伸ばしたクリップなどを差し込んで押ししてください。



カメラ端子
(AV IN)

microSD
カードスロット

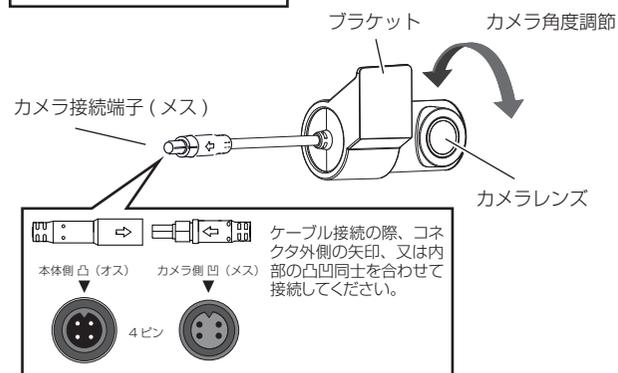
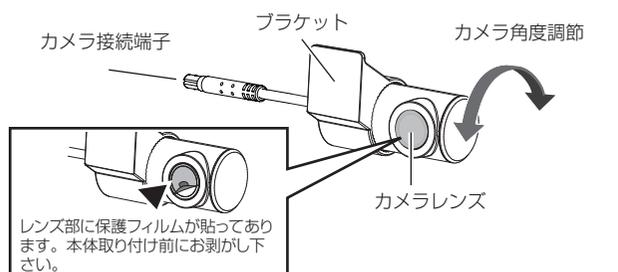
電源端子
(DC IN)

スピーカー

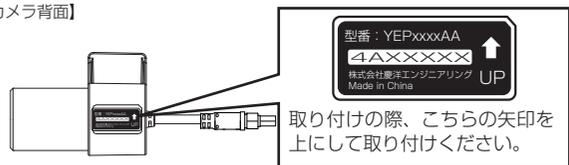
マイク

各部名称

■フロント・リアカメラ共通項目



【カメラ背面】



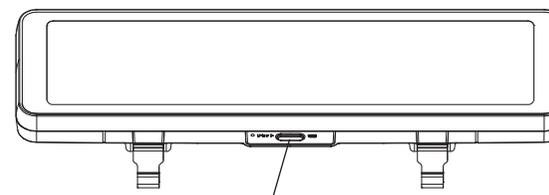
各部名称

■電源オン/電源オフ

お車のエンジンを始動、(ACC がオン) に連動して【電源がオン】します。
お車のエンジンを停止、(ACC がオフ) に連動して【電源がオフ】します。

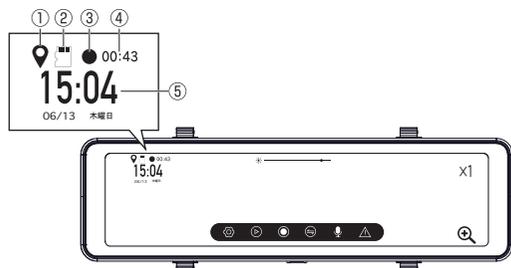
■本体での操作

「画面オフ/電源」ボタンを長押しで【電源がオフ】になります。
電源オフ状態から短押しすると再び【電源がオン】します。
※「画面オフ/電源」ボタンの短押しで【画面がオフ】します。
再び短押しすると【画面がオン】されます。
画面タップでも元の画面に切り替えることができます。



本体下「画面オフ/電源」ボタン

各部名称

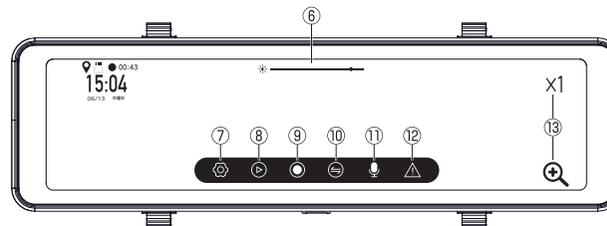


■ 画面名称

上記図の様に本体に電源が入ると左上にアイコンなどが表示されます。

- ① GPS
GPS の受信状態を表示します。
GPS 受信時 : ● (緑)
GPS 未受信 : ○ (白)
- ② SD カード
SD カードの状態を表示します。
SD カード挿入時 : 
SD カード未挿入 / 未フォーマット時 : 
- ③ 録画マーク
録画中 : ● (赤表示点滅)
録画停止中 : (表示なし)
衝撃検知録画・手動録画時 : ● (黄表示点滅)
- ④ 録画時間
録画時間を表示します。
常時録画時 : 赤
衝撃検知録画・手動録画時 : 黄
- ⑤ 日時表示
日時曜日を表示します。

各部名称

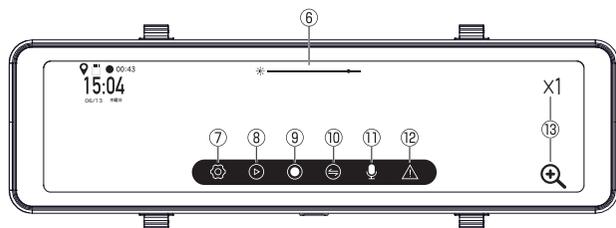


■ 操作アイコン一覧

画面をタップすると、上記図の様に画面に各操作アイコン一覧が表示されます。各アイコンを押すと下記の様な切り替えが出来ます。

- ⑥ 画面輝度調整
明るさ調整時に表示します。
- ⑦ 設定メニュー
設定メニューに移動します。
- ⑧ 再生メニュー
再生メニューに移動します。
- ⑨ 録画操作
録画を開始 / 停止ができます。
録画中 : ● (赤表示)
録画停止 : ○ (白表示)
- ⑩ カメラ切り替え
画面に映るカメラの切り替えができます。
リアカメラ⇄フロント / リアカメラ⇄フロントカメラ
- ⑪ 音声録音
録画中の音声録音を ON/OFF できます。
音声 ON : 
音声 OFF : 

各部名称



■ 操作アイコン一覧つづき

画面をタップすると、上記図の様に画面に各操作アイコン一覧が表示されます。各アイコンを押すと下記の様な切り替えが出来ます。

⑫ 手動録画

手動録画を開始します。手動録画が終わると常時録画に戻ります。

⑬ リアカメラ画面の倍率

表示倍率の変更が出来ます。

アイコンを押すたびに ×1⇒×1.5⇒×2 と切り替えが出来ます。

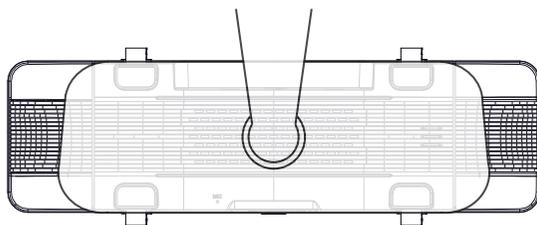
※ 倍率表示 / アイコンは、リアカメラ画面（バックギア連動画面は除く）の時のみ表示され、調整が出来ます。

MEMO

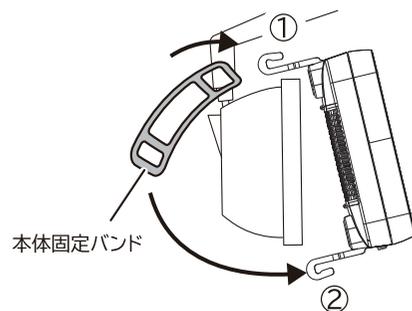
車両への設置 (本体)

■ ミラー型ドライブレコーダー本体取り付け

1. 本製品が車両ミラーの中央に来るように取り付け位置を決めます。

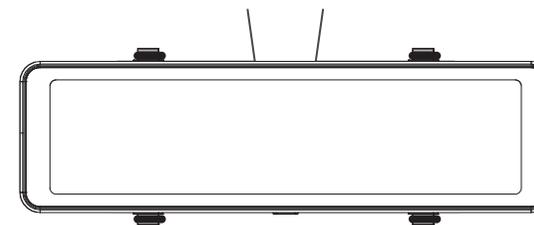


2. 本体固定バンドを車両ミラーに①、②の順に本製品のフックに取り付けてください。



車両への設置 (本体)

■ ドライブレコーダー本体取り付け



3. フロント/リアカメラの映像を確認しながら、カメラの角度調整を行ってください。詳しくは(⇒P.27)を参照。

⚠ 警告

- ・本製品が既存ルームミラーにしっかり装着されているか確認の上、走行してください。
- ・走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので、絶対におやめください。
- ・本製品は、既存ミラーとは距離間、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
- ・本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障・破損の原因になります。

車両への設置（フロントカメラ）

■ 取り付けの前に…

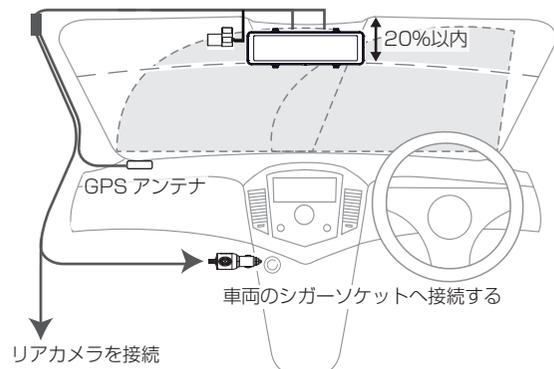
取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

⚠ 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください

取り付け時の注意

- フロントカメラは必ずフロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けて下さい
- GPS アンテナはダッシュボード上面に取り付けてください。
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 両面テープは再接着できません。ブラケットを仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。

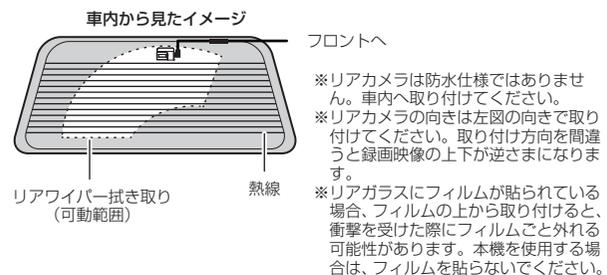
■ 取り付けイメージ



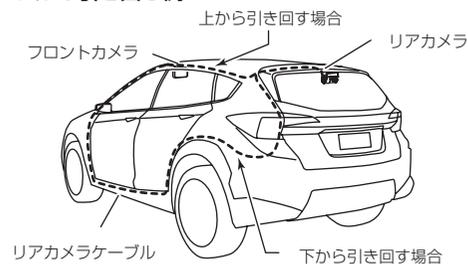
車両への設置（リアカメラ）

■ 取り付けの前に

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱源を破損させるおそれがあります。



■ ケーブルの引き回し例



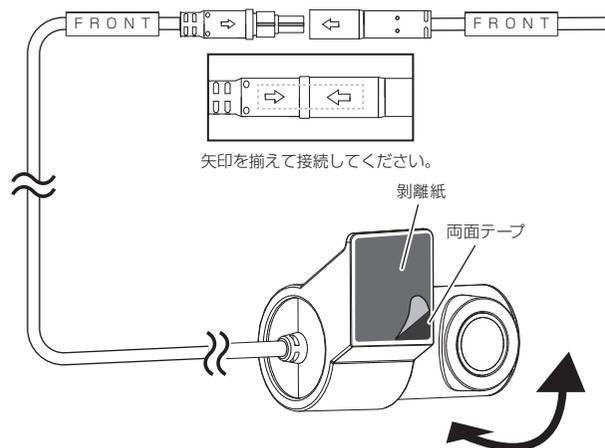
- ※上記のイラストは一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。
- ※ケーブルが視界の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。
- ※バックドアやトランクなどを開閉し、ケーブルが挟まれないか確認してください。またバックドアやトランクなどを開閉したときに、ケーブルが引っ張られる場合は、ケーブルを余分にたるませて配線してください。

車両への設置 (カメラ)

■ カメラの取り付け

1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、ガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、本体をガラスにしっかりと貼り付けます。

※両面テープは再接着できません。
本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。



3. カメラ本体をまわして角度を調整します。

※フロント用カメラには、**[FRONT]** のタグが付いています。

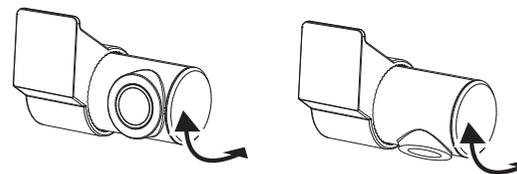
リア用カメラには、**[REAR]** のタグが付いています。

取付時は注意してください。

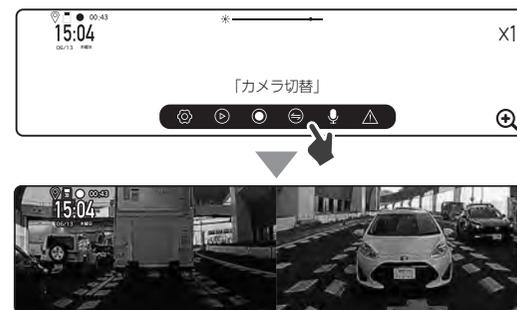
車両への設置 (カメラの調整方法)

■ レンズの角度調整

1. カメラ本体の貼り付けたブラケット部をしっかり保持し、カメラレンズ部の円柱形状を回転させることにより、レンズの上下方向を調整できます。



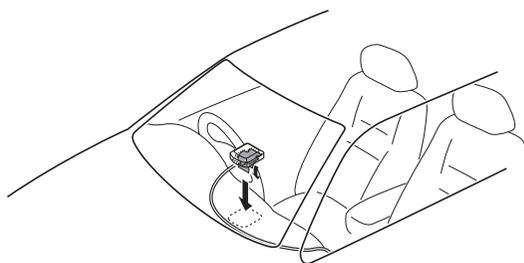
2. 録画したい画像範囲は、本体画面内の「カメラ切り替え」ボタンで2画面状態にし、画面を見ながら調整してください。



車両への設置 (GPS アンテナ)

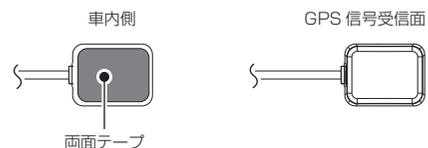
■ GPS アンテナの取り付け

GPS アンテナはダッシュボード上面に取り付けてください。



1. 適切な位置を決め、貼り付け面の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 両面テープの剥離紙を剥がし、ダッシュボードへ GPS アンテナをしっかりと貼り付けます。

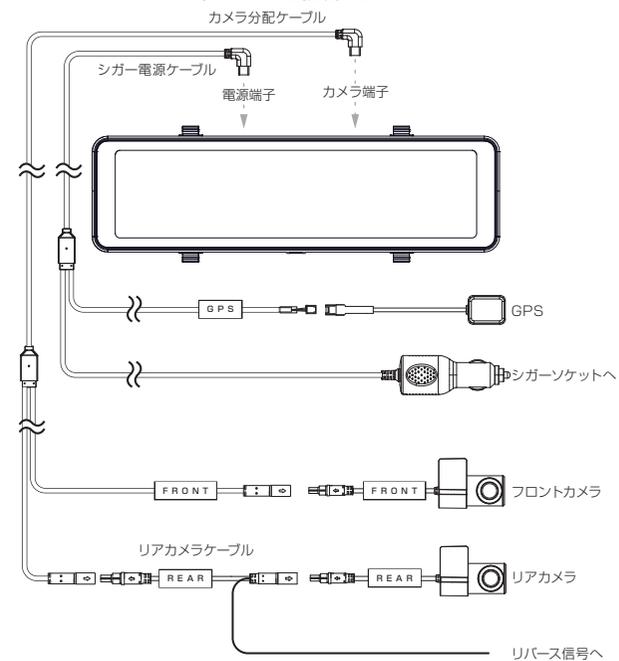
- ※ GPS アンテナは受信面ができるだけ水平になるように取付けてください。
- ※ フロントガラスには取付けないでください。受信面が外側へ向かないため 正常に受信できません。
- ※ 熱線反射タイプや熱線吸収タイプなどのフロントガラスの場合 GPS 衛星からの信号が受信できない場合があります。



車両への設置 (システム)

■ 接続方法

フロント / リアカメラ、GPS アンテナ、カメラ分配ケーブル、リアカメラケーブル、シガー電源ケーブルを接続します。



※ シガープラグ接続の場合・・・

車両によっては ACC オフでもシガーソケットへ給電するものがあります。使用後はシガープラグを抜き、ご使用の際はエンジンスタート後に後にシガープラグを接続されることをお勧めします。

車両への設置（システム）

■ 接続後の確認

1. ケーブルの接続時、コネクタ部の矢印と形状を確認し、下記図の様に向きに気をつけて接続してください。
2. ケーブルの接続後、余ったケーブル類は運転の妨げにならないよう束ねてテープやクランプで固定するなどしてください。
3. お車のエンジンを始動、または ACC をオンにして本機の電源をオンにします。
問題なく本機が動作することを確認してください。

フロントカメラ



リアカメラ



フロントカメラ / リアカメラの形状は同じです。
下図の項目を確認し、同じ名称のコネクターを接続ください。



ケーブル側 凹 (オス)



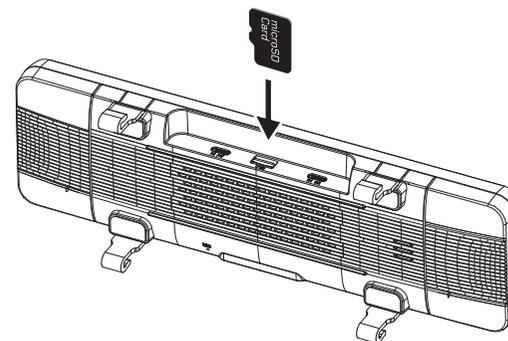
本体側 凸 (メス)

microSD カードの挿入、取り外し方法

microSD カードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源がオフで画面が消灯していることを確認してから行ってください。本体動作中に microSD カードを抜いた場合、『microSD カード異常が発生しました。microSD カードを確認してください。』等の表示が出る場合があります。

■ microSD カードの挿入

microSD カードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



■ microSD カードの取り出し

microSD カードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

microSD カードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。
また、常に microSD カードをケースに入れて持ち運びください。

microSD カードのフォーマット

■ microSD カードのフォーマットについて

microSD カードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認してください。安心してお使いいただくため、1 ヶ月に 2 回程度は microSD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

※フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。大切なデータは必ずパソコンなどにバックアップを作成してください。

■ microSD カードの挿入後の認識不良について

microSD カードを挿入後、「microSD カードがありません。microSD カードを挿入してください」画面表示及び、音声案内が発生する場合や、「このカードは適合していません」または「microSD カード異常が発生しました microSD カードを確認してください」と画面表示された場合は、本機に適合しない、または microSD カードの不良の可能性がありますので、microSD カードの交換をおすすめ致します。

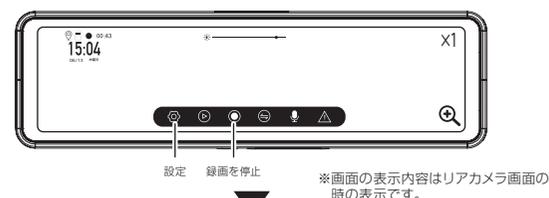
⚠ フォーマットは必ず本機で行ってください

- ※本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- ※本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができなくなる場合があります。
- ※他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- ※定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。

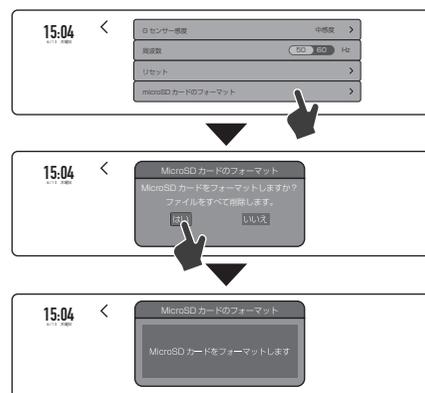
microSD カードのフォーマット

■ フォーマット手順

本機の電源がオンの状態で、録画を停止（録画マークが白い○状態）し「設定」ボタンを押し設定メニューを表示します。



設定メニューを上下にスクロールし [microSD カードのフォーマット] を選択、フォーマットメニューが表示されましたら「はい」を選択しフォーマットを実行します。

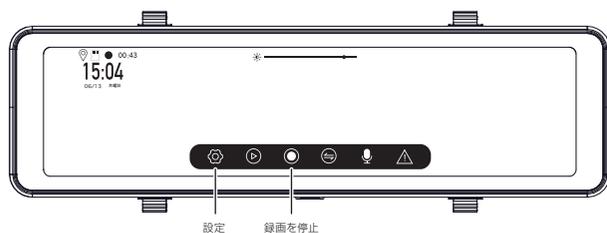


- ※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。
- ※フォーマットが完了するまで microSD カードを抜いたり、電源をオフにしないでください。

設定メニュー

■ 設定メニュー表示

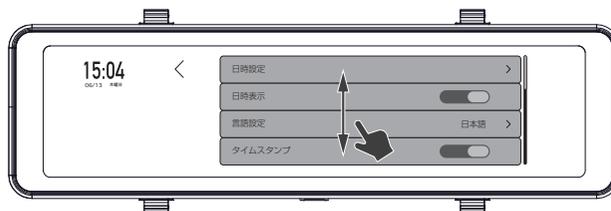
録画を停止し、「設定」ボタンを押すとメニュー画面が開きます。
各種設定変更を行えます。



■ メニュー画面

モニターをタップ操作で項目を選びます。目的の項目が表示されていない場合、上下にスクロールすると項目が出てきます。

前の画面に戻るには画面上部の【<】(戻る)をタップします。



※メニュー画面の状態で、無操作が約 20 秒以上続くと自動で常時録画に切り替わります。

設定

■ メニュー画面

変更する項目をタップして選択します。



- 日時設定
日時の設定ができます。
※GPS信号を受信すると日時が自動で設定されます。
- 日時表示 (初期設定:オン)
画面の日時の表示: オフ (非表示) / オン (表示)
- 言語設定 (初期設定:日本語)
メニューなどの言語設定: 日本語/English
- タイムスタンプ (初期設定:オン)
録画ファイル再生時に、画面内に表示される日時の表示/非表示設定 : オフ/ オン

設定

■ メニュー画面

変更する項目を上下にスクロールし、タップして選択します。



- Gセンサー感度 (初期設定: 中感度)
常時録画時のGセンサー感度設定: 低感度/中感度/高感度
- 周波数(初期設定: 50Hz)
周波数の設定: 50Hz/60Hz
- リセット
本体機能を工場出荷時の状態に戻します。
- microSDカードのフォーマット
microSDカードをフォーマットします。
- ソフトウェアバージョン
本機のシステムのバージョンを表示します。

MEMO

画面の表示

■ カメラ切り替え

- 画面をタップし画面下の「カメラ切り替え」ボタンをタップすることで切替ができます。



- リアカメラ表示から、カメラを切り替わる度に、【リアカメラ】→【フロント / リアカメラ2画面表示】→【フロントカメラ】→【リアカメラ】と順に切り替わります。

リアカメラ



フロント/リアカメラ2画面表示



フロントカメラ



- ※「リアカメラ優先表示」を「オン」にしておくことで、フロントカメラ表示は約10秒でリアカメラ表示に切り替わります。

画面の表示

■ カメラ表示調整

- 液晶の表示は、実際の録画データより表示できる範囲が限られています。液晶パネルを上下にスワイプすることで表示したい部分に調整することが可能となります。
- 画面を元に戻すように上下にスワイプすることでカメラの表示範囲を調整出来ます。

リアカメラ

アイコン類は下記の内容が全て表示されます。



- ※リアカメラ表示時のみ右下のアイコンを押すたびに×1⇒×1.5⇒×2 と切り替えが出来ます。

フロントカメラ

アイコン類は上記の内容の拡大アイコン以外が表示されません。



- ※【フロント/リアカメラ2画面表示】では調整出来ません。

画面の表示

■ バックギア連動

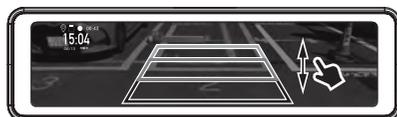
- シフトレバーをバックギア (R) に切り替えると、通常のリアカメラ位置から下方へ一段下がります。この位置は、画面の上下スワイプで調整出来ます。



※リアカメラ画面で設定した表示倍率はバックギア連動画面には反映されません。倍率はX1で固定表示です。

■ リアカメラガイドライン

- 「車外リアカメラガイドライン」設定が「オン」の場合、シフトレバーをバックギア (R) に切り替えると、リアカメラ位置から下方へ一段下ると共に、リアカメラ画面にガイドラインが自動的に表示されます。尚、ガイドラインの調整は出来ません。
- ※カメラが車内用の為、通常の車外用バックカメラとは異なり、車両と後方物との距離感が異なりますので接触等にはご注意ください。
- ※本機のリバース線をシフトレバーをバックギア (R) に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線などに接続してください。
- ※輸入車等では、バックギア連動に関して特別な配線が必要になることがあります。詳しくは専門業者様にご相談ください。



録画方式

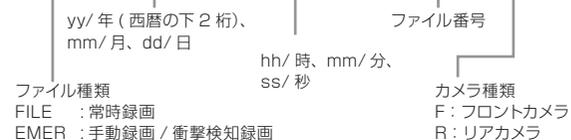
録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画があります。

■ ファイル名について

- ファイル名はファイル種類 + 録画した年月日 + 時分秒 + 追番 + カメラ種類で作成します。

※録画ファイル構成については (⇒P.48) をご確認ください。

FILE240617-110926-000001F.MP4



1. 常時録画

本機はお車のエンジンを始動、または ACC がオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。1つの録画ファイルは約 60 秒で作成されます。

※音声案内がオフ、ボリューム設定がオフのときは音声案内はありません。



保存フォルダ : NORMAL
ファイル名 : FILEyyymmdd-hhmmss-xxxxxxF.MP4

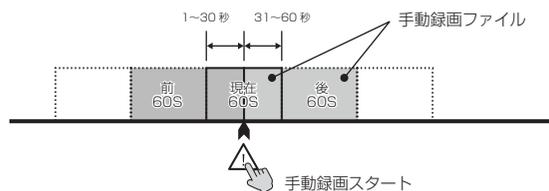
録画方式

2. 手動録画

常時録画中に手動録画をタッチすると、手動録画ファイルを作成します。ファイルの前半（1～30秒）に検知した場合は、そのファイルと前の1ファイル（合計2ファイル）を手動録画ファイルとして保存します。ファイルの後半（31～60秒）に検知した場合は、そのファイルと後の1ファイル（合計2ファイル）を手動録画ファイルとして保存します。手動録画中は画面上の録画マークが黄色に点滅します。

※手動録画中は、画面操作で録画を停止できません。

※手動録画開始時に音声案内します。



保存フォルダ：EVENT

ファイル名：EMERyymmdd-hhmmss-000000F.MP4

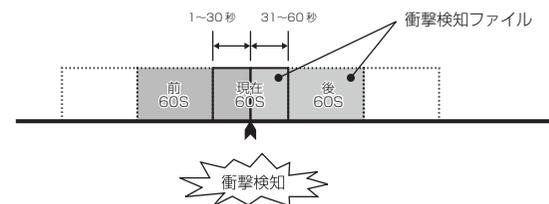
録画方式

3. 衝撃検知録画

常時録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。ファイルの前半（1～30秒）に検知した場合は、そのファイルと前の1ファイル（合計2ファイル）を衝撃検知録画ファイルとして保存します。ファイルの後半（31～60秒）に検知した場合は、そのファイルと後の1ファイル（合計2ファイル）を衝撃検知録画ファイルとして保存します。衝撃録画中は画面上の録画マークが黄色に点滅します。

※衝撃検知録画中は、画面操作で録画を停止できません。

※衝撃検知録画開始時に「ピン」と鳴ります。（音声案内はありません）



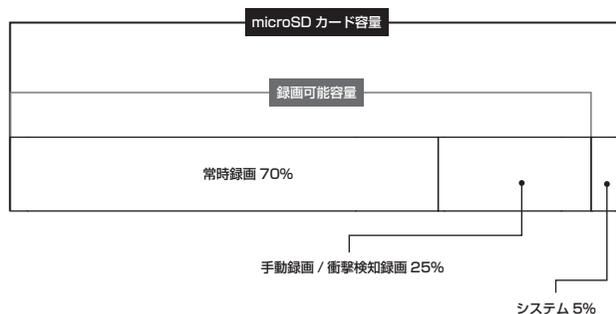
保存フォルダ：EVENT

ファイル名：EMERyymmdd-hhmmss-000000F.MP4

録画可能容量

■ 録画可能容量について

- microSD カードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約70%が常時録画、約25%が手動録画/衝撃検知録画、システムが5%の容量となります。



■ microSD カード容量別録画時間

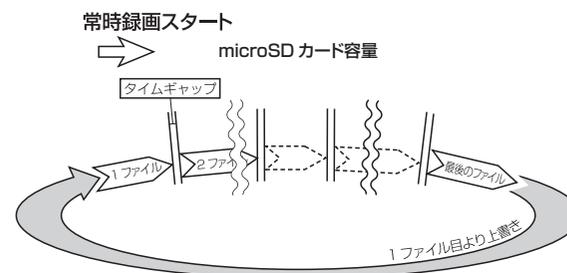
microSD 容量	常時録画 記録時間	常時録画 ファイル数	手動録画 / 衝撃検知録画	手動録画 / 衝撃検知録画 ファイル数
16 GB	約 85 分	約 85	約 24 分	約 12 <small>衝撃 1 回でファイルを作成します。</small>
32 GB	約 171 分	約 171	約 48 分	約 24 <small>衝撃 1 回でファイルを作成します。</small>
64 GB	約 342 分	約 342	約 96 分	約 48 <small>衝撃 1 回でファイルを作成します。</small>
128 GB	約 684 分	約 684	約 192 分	約 96 <small>衝撃 1 回でファイルを作成します。</small>

※各録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。

ファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

録画中は設定された時間毎に録画ファイルが作成されます。microSD カードの常時録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



※1 ファイル分の録画時間に満たない状態で電源を切った場合には、その時点までのファイルが作成されます。

※大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

■ タイムギャップ

タイムギャップ（ファイル間の無録画時間）は理論上約 0.1 秒あります。

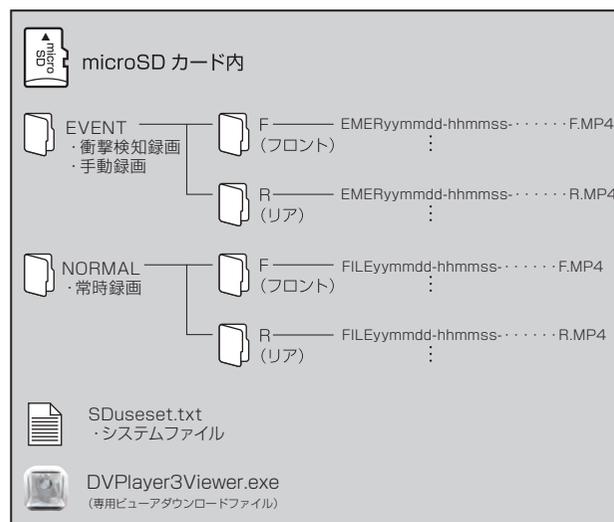
ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。その間は録画はされません。

※ データ保存のためには電源を切り、LED が消灯してから microSD カードを抜き取ってください。

※ 実際のタイムギャップは約 0.1 秒より短くなる場合があります。

microSD カード内のファイル構成

■ 録画ファイル構成



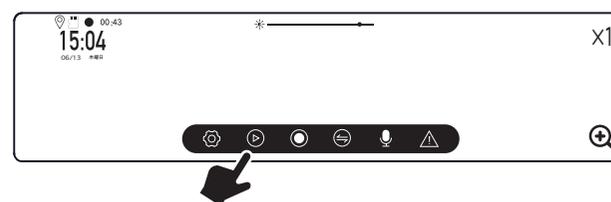
※「SDuseset.txt」の中には以下の設定値の情報を保存していますので、SD カードを PC でフォーマットしたり、これ迄使用していた SD カードと異なった SD カードを使用した場合は情報がクリアされます。本体でフォーマットを行った場合はクリアされません。

- ・音声案内のオン / オフ設定 / LCD の明るさ調整 / LCD の表示画面 (1 画面 or2 画面等) / LCD に表示させているカメラの角度。

ファイルの再生

本機で録画したファイルを再生できます。

録画を停止し、画面下のアイコンから「再生」ボタンをタップすると【再生メニュー】が表示されます。



■ 再生メニュー画面

再生したい録画ファイルの種類を「録画ファイル」アイコンから選び、フロント、リアカメラを選び、録画ファイルをタップし選択します。前の画面に戻るには左上の「<」を押し戻ります。

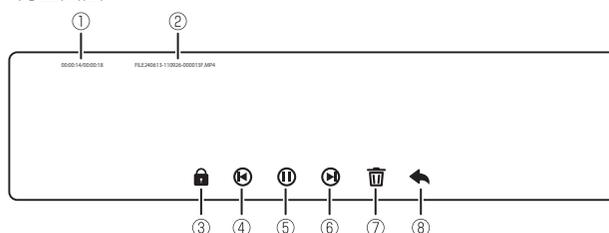


ファイルの再生

■ 再生画面

ファイルの再生中に画面をタップすると再生操作ができます。

再生画面



①再生時間

②ファイル名

③ファイル保護

※ファイル保護：上書きされないようにファイルを保護します。

保護したいファイルを再生中に、タップするとアイコンが白色から黄色に変わります。

④戻る（ひとつ前のファイルに戻ります。）

⑤再生 / 一時停止

⑥進む（次のファイルに進みます。）

⑦ファイル削除

※ファイルを削除が完了すると、再生メニュー画面に戻ります。

⑧再生メニュー画面に戻る

ファイルの削除

■ ファイルを削除するには

保護（ロック）されていないファイルはファイル選択後、再生画面の下部にあるゴミ箱アイコン「再生画面下部のゴミ箱アイコンをタップすると、削除確認のダイアログが表示されます。ダイアログには「録画ファイルを削除する」と「選択したファイルを削除しますか？」と表示され、「はい」と「いいえ」のボタンがあります。

保護（ロック）されているファイル（イベント録画ファイル）の場合は、一度保護を解除してから削除してください。保護を解除してからでないと、削除できません。再生画面下の「ファイル一覧画面で、特定のファイルのロックアイコンが黄色になっている状態を示しています。この状態を「保護された状態」と説明しています。



保護を解除後のファイルの削除方法は上記保護されていないファイルの操作方法と同じです。

画面の表示

■ ポップアップ表示

- 操作内容や手順に応じてポップアップ表示がでる場合があります。画面の表示に応じて対応してください。



ポップアップ	どんな状態の時に？
microSD カードがありません。 microSD カードを挿入してください。	microSD カード未挿入状態で本体を起動した時
このカードは適合していません。	本体がカードを識別出来ない場合
microSD カードが取り外されました。 microSD カードがありません。 MicroSD カードを挿入してください。	動作中に microSD カードが抜かれた場合。
microSD カード異常が発生しました。 microSD カードを確認してください。 microSD カードがありません。 MicroSD カードを挿入してください。	
microSD カードをフォーマットしますか？ ファイルをすべて削除します。 はい	フォーマットされていない microSD カードが挿入された場合。
microSD カードをフォーマットしますか？ ファイルをすべて削除します。 はい / いいえ	手動で microSD カードをフォーマットする場合。
microSD カードをフォーマットします。	フォーマット開始時。
microSD カードをフォーマットしました。	フォーマットが正常に完了された時。

画面の表示

■ ポップアップ表示 (つづき)

ポップアップ	どんな状態の時に？
SDカードエラー	カードのフォーマットが失敗された時、 エラーの microSD カードが挿入された時
microSD カード異常が発生しました。 microSD カードを確認してください。	microSD カードが異常時
現在のファイルを保護します。	衝撃を検知した時
手動録画を開始します。	手動録画ボタンを押した時
録画を停止してください。	録画中に再生ボタンを押した時 録画中に設定ボタンを押した時
See You !	ACC-OFF してシャットダウン時
選択したファイルを削除しますか？ 「はい / いいえ」 保護されたファイルを削除できません!	保護されたファイル (イベントファイル) を保護を解除せず削除した場合

専用ビューア

ビューアソフトでは microSD カードに保存された映像と、走行した位置や G センサー情報の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレーヤーでも再生できますが、走行位置や G センサー情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ビューアが必要です。

専用ビューアのダウンロードファイルは、本機に挿入した microSD カード内に自動的に作成されますが、慶洋エンジニアリングのホームページからもダウンロード可能です。

[<https://www.keiyoeng.co.jp/support/download/>]

※走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していないときは地図が表示されません。

● 動作条件

対応 OS	Windows 10 (64bit) / 11(64bit)
CPU	Intel Core i5 以上
GPU	DirectX 9.0c 以上が動作すること
メモリー	4GB 以上
HDD 空き容量	4GB 以上
ディスプレイ	WXGA (1280×768) 以上
サウンド	Windows で動作可能な再生機能
その他	<ul style="list-style-type: none">インターネット接続環境microSDHC/SDXC カードを接続可能なメモリーカードリーダー、ライター

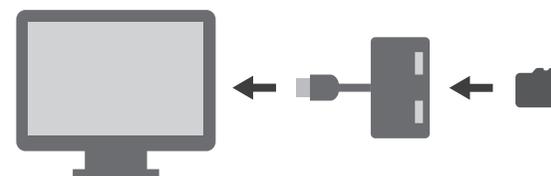
※条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

1. パソコンに SD カードリーダーライターを接続します。
 - ※ 使用方法はリーダーライターの取扱説明書をご確認ください
 - ※ パソコンに直接 SD カードを接続できる場合はリーダーライターは必要ありません。



2. SD カードリーダーライターに microSD カードを挿入します。
 - ※ 必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用してください。
3. リムーバブルディスクを開き、ダウンロードファイルをダブルクリックし、PC のガイダンスに従い、インストールします。



専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

4. ファイルをダウンロード後、セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認して「次へ」をクリックします。以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



5. インストールが終わるとパソコンのデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



ビューアソフト
ショートカットアイコン
DVPlayer3

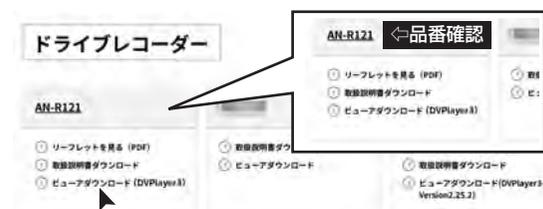
専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

1. ビューアソフトは慶洋エンジニアリングホームページからもダウンロードできます。

ダウンロード URL

<https://www.keiyoeng.co.jp/support/download/>



2. "ビューアダウンロード" をクリックすると、【ご利用条件】のページが表示されます。【同意して進む】をクリックしていただくと、ソフトがダウンロードされます。

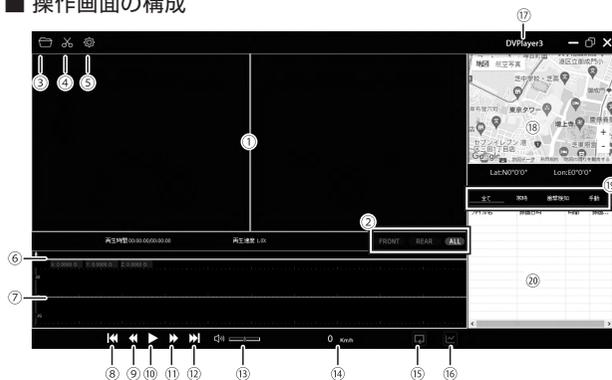


※製品毎にビューアソフトは異なりますので、製品番号をご確認の上ダウンロードをお願いします。

3. インストール方法は (⇒P.56) の 4 と同様です。

専用ビューア

■ 操作画面の構成



- ①. **再生画面**
ファイルを再生すると映像が表示されます。
- ②. **カメラ切り替え**
再生画面に表示するカメラ映像を切り替えます。
FRONT：フロントカメラ、REAR：リアカメラ、ALL：同時表示
- ③. **ファイルの読み込み**
プレイリストに表示するファイルを選択します。(⇒P.61)
- ④. **画像の切り取り**
ビューアに表示されている映像を画像として保存します。(⇒P.63)
- ⑤. **設定**
マップ、言語を設定します。
- ⑥. **再生位置**
ファイルの再生箇所を表示します。
- ⑦. **G センサーグラフ**
G センサーが記録したデータを表示します。
- ⑧. **前のファイル**
プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

- ⑨. **再生速度を遅く**
クリックする度に再生速度が遅くなります。
- ⑩. **再生 / 一時停止**
プレイリストで選択されているファイルを再生します。
- ⑪. **再生速度を速く**
クリックする度に再生速度が速くなります。
- ⑫. **次のファイル**
プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
- ⑬. **音量**
スピーカーアイコンをクリックするとミュート (消音) します。
バーをクリックしたまま左右操作で再生音量を調整します。
- ⑭. **速度表示**
GPS 信号から算出した速度を表示します。
ダブルクリックでキロメートル毎時/マイル毎時を切り替えます。
※実際の速度とは異なることがあります。
- ⑮. **連続再生**
プレイリストの順番に再生され、最後のファイルを再生するともう一度最初から再生します。
- ⑯. **G センサーグラフ表示の切り替え**
G センサーグラフの表示 / 非表示を切り替えます。
- ⑰. **バージョン情報**
ビューア名 (DVPlayer3) をクリックすると、バージョンを表示します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

⑱. 走行位置表示

インターネットの地図上に走行位置を表示します。

※インターネットの接続環境が必要です。接続していないときは表示されません。

※GPS 衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。

※位置情報が記録されていないファイルを再生した場合は表示されません。GPS 信号受信についての注意事項は (⇒P.11) をご確認ください。

⑲. 録画方式の選択

プレイリストに表示されるファイルを録画方式別に表示します。

全て : 全てのファイル

常時 : 常時録画ファイル

衝撃検知 : 衝撃検知録画 / 駐車監視録画ファイル

手動 : 手動録画ファイル

⑳. プレイリスト

読み込んだファイルが表示されます。

※プレイリストにはフロントカメラのデータのみ表示されます。

専用ビューア

■ 動画の再生

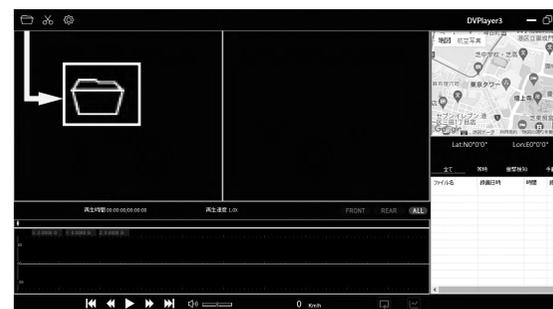
本機で録画した映像を専用ビューアを使い再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、付属の SD カードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「DVPlayer3」のショートカットアイコンをダブルクリックして、専用ビューアを起動させます。



← ビューアソフト
ショートカットアイコン

3. 左上の「ファイルの読み込み」をクリックします。



専用ビューア

4. ダイアログが表示されますので、読み込むメディアを選択します。



デフォルトでは「ディスク」が選択されています。
右のプルダウンから microSD カードのドライブを選択して「OK」をクリックします。



※ドライブのアルファベットは
ご使用の環境により異なります。

microSD カードのドライブを選択

5. microSD カード内のファイルが読み込まれます。
ビューアのプレイリスト内にファイルが表示されますので、再生したいファイルを選択して、再生をクリックします。

● ファイル、またはフォルダを指定して読み込む場合

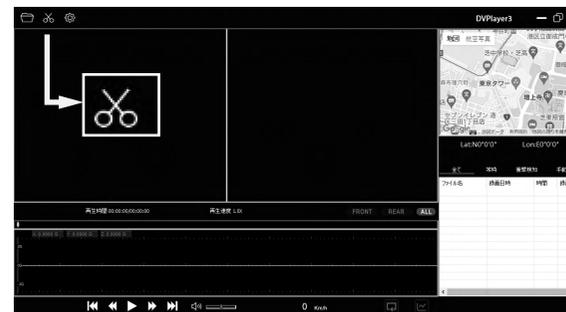
1. 「ファイルの読み込み」をクリックして表示されるダイアログ内で、「ファイル」または「フォルダ」を選択して、右側の「…」をクリックします。
2. microSD カードやパソコン内から、読み込むファイル、またはフォルダを指定し「OK」をクリックします。

専用ビューア

■ 画像の切り取り

ビューアに表示されている画面を画像として保存します。

1. 再生中、または一時停止中に「画像の切り取り」をクリックするとダイアログが表示されます。



2. 保存先を決め、ファイル名を入力します。
ファイルの種類を選択して、保存をクリックします。
ファイル名にはフロントが表示されていますが、フロント/リアが同時に保存されます。



専用ビューア

■ バージョンの確認

ビューアタイトルをクリックするとバージョン情報が表示されます。

■ アップデートする

専用ビューアの更新時には弊社ホームページ上でお知らせいたします。

慶洋エンジニアリングのホームページ
<https://www.keiyoeng.co.jp/>

本体ソフトウェアのアップデート

本体ソフトウェアの更新時には、弊社ホームページ上でお知らせいたします。

MEMO

製品仕様

本体

録画ファイル	常時録画 / 衝撃検知録画 / 手動録画	
録画時間 (1ファイル)	常時録画	約 60 秒
	衝撃検知録画	約 60 秒 検知した時点のファイル+前 or 後のファイルの 2 ファイル ※1
	手動録画	約 60 秒 ボタンを押した時点のファイル+前 or 後のファイルの 2 ファイル ※1
画面サイズ	10.66 インチ タッチパネルディスプレイ	
音声録音	オン / オフ 切り替え可能	
GPS	有り (外付け)	
G センサー	有り (低感度 / 中感度 / 高感度 の3段階レベル調整)	
メモリーカード	microSDHC カード : 16 ~ 32GB microSDXC カード : 64~128GB スピードクラス CLASS10 以上 ※2	
消費電流 (フロント / リアカメラ接続時)	常時録画中	DC12V : 約 800mA / 最大 1,540mA
		DC24V : 約 400mA / 最大 880mA
サイズ	約 255(W)×72(H)×24.5(D)mm	
質量	約 370g	
録画方式	H.264(.MP4)	
動作温度範囲	-20℃~+65℃	

※1 衝撃の検知、手動録画は、タイミングによって録画時間が異なります。

※2 すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

※3 上記以外の microSD カードは使用できません。

製品仕様

フロント / リアカメラ

カメラ	センサー	CMOS センサー 約 200 万画素
	レンズ画角	水平 : 110° / 垂直 : 59° / 対角 : 131°
	最大記録画角	水平 : 100° / 垂直 : 53° / 対角 : 120°
	F 値	2.0
録画サイズ	Full HD (1920×1080P)	
フレームレート	フロント 27.5fps / リア 25fps	
サイズ	約 55(W)×37(H)×41.5(D)mm	
質量	約 36g	
動作温度範囲	-20℃~+65℃	

保証書

■ 保証規定

- 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
- 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および商品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店または、株式会社慶洋エンジニアリングに修理をご依頼ください。本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。
※ microSD カードは消耗品のため、保証の対象外です。

品名	ドライブレコーダー
機種名	AN-R121
保証期間	お買い上げ日より3年間(本体)
	お買い上げ日: 年 月 日
販売店名	
住所	
電話番号	

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

お問い合わせ先

KEIYO

株式会社慶洋エンジニアリング

〒105-0004

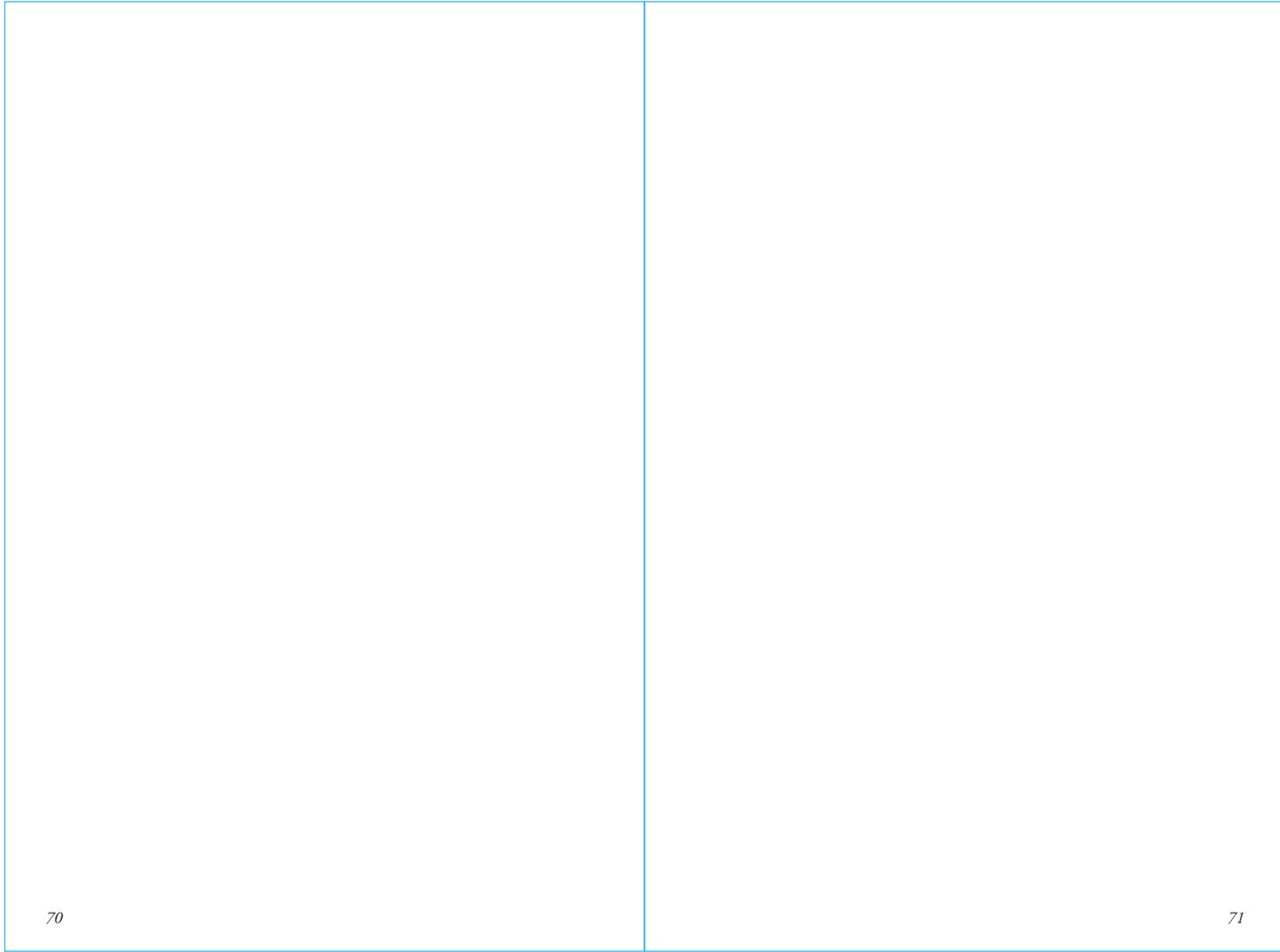
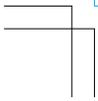
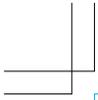
東京都港区新橋 6-13-1 第3長谷川ビル

<http://www.keiyoeng.co.jp/>

TEL: 03-3431-8194 (サービスコール)

受付時間: 平日 10時~12時 / 13時~16時

(土日祝日と弊社指定休業日は除く)



70

71